

VR EXPO 2019 TOKYO
出展のご案内

2019年7月
株式会社Mogura

VR/AR/MRへの企業からの関心が高まっている現状に対して、業界企業とのつながりが弱くなっている。企業同士を繋げるビジネスマッチングの場の必要性が高い。

VR/AR/MRの
産業活用に関心が
ある企業

VR EXPO

ソリューションを提
供している業界企業

- ・「エンタメ向けの体験機会が多い」
- ・「事業で導入するイメージがわからない」
- ・「技術もコストも分からない」
- ・「作るために誰に相談すればいいのか分からない」

- ・「認知度向上が必要」
- ・「体験する場は自社内のみ」
- ・「依頼が多すぎて断っている」
- ・「自社以外のサービス提案はしにくい」

- 正式名称 : VR/AR/MR ビジネスEXPO 2019 TOKYO
主催 : 株式会社Mogura、DBJキャピタル株式会社
日時 : 2019年12月4日(水)10:00~18:00
※設営:12月3日(火)13:00~17:00(予定)、12月4日(水)9:00~10:00
場所 : AKIBA_SQUARE(秋葉原UDXビル2階、JR秋葉原駅徒歩2分)
入場料 : 通常3,500円、早割3,000円
出展社数 : 30社+スタートアップ13社(一般応募あり)
応募期間 : 7月26日~9月20日(予定)
出展料 : **通常ブース 1小間11万円(税別)**(出展料10万円+机椅子基本レンタルセット1万円+出展社用パス6枚)
※1小間あたりの面積は約W3600mm×約D2700mm
※1社複数小間の申込も可能、要相談
※机1脚、椅子2脚、ブース間のパーティションは主催にて用意。机や椅子を増やす際は追加料金。

ロボティクス/ハプティクスコーナー 上記通常ブースと同じ

スタートアップブース 1小間4万円(税別)。

※今回から始めるブース形態です

※ハイテーブル1台のみ

※複数小間の申込不可

来場者数目標:600名

- ・国内最大のVR/AR/MR専門メディアMogura VR及び日本政策投資銀行グループによる集客。
- ・有料イベントのため、商談目的の来場者が非常に多い。
- ・入場時間をチケットで区切り、来場者の集中による混雑を緩和。
- ・Mogura VRにて事前の各ブース紹介記事を掲載。
- ・VR/AR/MRを知り尽くしているMoguraスタッフによるサポート
(センサー同士が干渉を受けないブース配置等)



VR News ビジネス利用 テック 投資 業界動向・将来予測 開発
MoguraLive 特集: Oculus Quest PSVR VTubeR Oculus Go Oculus Rift HTC VIVE VR動画 VRゲーム

GyroEye Holo

「GyroEye Holo」は、設計CAD図面や3Dモデルデータなどをデータ変換し、ホログラム映像として1分の1スケールで実空間に投影するHoloLens対応のMRシステムです。提出し易の施工支援から、構造物や機械設備の点検業務や遠隔コミュニケーション、レイアウト・干涉シミュレーション、教育研修まで、幅広く活用することができます。

株式会社ハニカムラボ: Holo Attendant

Honeycomb Lab.

株式会社ハニカムラボは、VR/AR/MRソフトウェアやスマートフォンアプリの開発などを行う企業です。同社は日本マイクロソフトのMR/VRパートナープログラムに2017年11月より加入、モブクリサービスのDMMMakeと共同で、MR技術を活用した新しい収益方法「バーチャルフィナンシング」の開発を行っています。今回はHoloLens対応ソリューション「Holo Attendant」の展示を行います。

「Holo Attendant」は、HoloLensを用いて現実空間をホログラムで案内することができるソリューションです。開発地域や業種、工場見学、会社案内などに対して、任意のアテンダントキャラクターが

[Mogura VR NEWSでの紹介記事例](#)

通常ブースとは

ブースは約W3600mm × 約D2700mm × 約H210mmのパネルで囲まれた部分です。

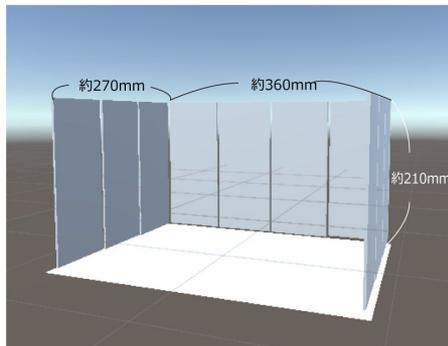
長机1台・パイプ椅子2脚が基本レンタルセットとしてご用意いたします。(オプションにて机椅子の追加可能です。)

電気工事・電気使用量が含まれます。(Wi-Fiは別途オプションになります)

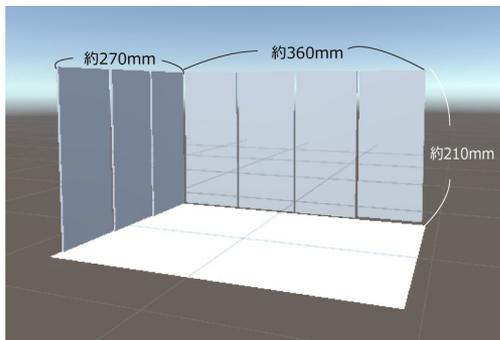
出展社用パス6枚とはVR EXPOの2階展示ブースのみ入場できるパスです。

複数小間もお申込みいただけます。

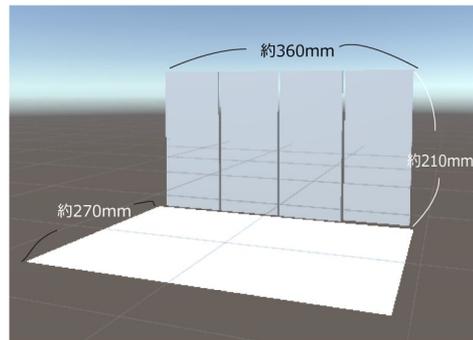
ブース例:3パターンのいずれかになります



両隣にブースがあるタイプ



左右どちらかにブースが隣接するタイプ(隣接する側のみパネル設置)



両隣にブースがないタイプ

ロボティクス・ハプティクスコーナーとは

通常ブースのうち、「ロボティクス/ハプティクス」分野の企業を集めたコーナーです。

今回、第5回東京から新設いたします。

対象企業：**トレイグジスタンスや触覚デバイスなどVR/ARの関連の深い「ロボティクス/ハプティクス」に取り組んでいる企業様**

ブース形状や基本レンタルセット、その他費用等の条件は通常ブースと同様です。

コーナーとしてブースをまとめますので、「ロボティクス/ハプティクス」コーナーへの出展を希望される企業様は申込時にご申告ください。



スタートアップブースとは

スタートアップ企業の方に、製品・サービスを多くの企業の方に見ていただく機会をご提供するために第5回東京から新設したブースです。

出展料が通常11万円のところを4万円でご出展いただけるため、出展費用を低く抑えることができます。

ブースはハイテーブル1個(高さ約1m、直径60cmの丸テーブル)のみとなります。

1社様につき、1小間のみご出展いただけます。



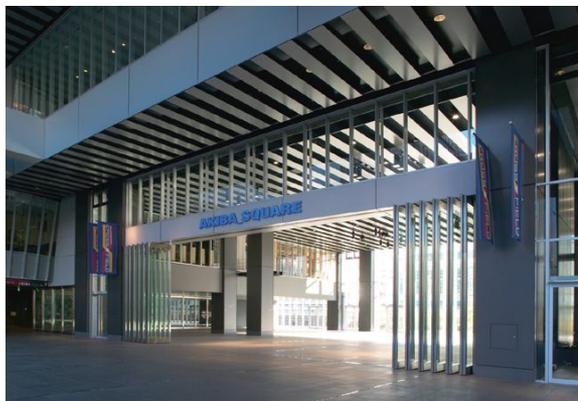
ハイテーブルイメージ図



(会場正面)



(会場内部)



(会場正面)



(利用例)

過去4回の開催実績—開催概要

2017年9月(東京)、2018年2月(大阪)、2018年10月(東京)、2019年4月(大阪)の4回開催。累計約1,400名が来場し、来場者・出展者とも満足度の高いイベントとして定着、規模を拡大中。

●第3回「VR/AR/MR ビジネスEXPO」

主催:株式会社Mogura、DBJキャピタル株式会社
日時:2018年10月4日(木) 10:00 - 18:00
場所:AKIBA SQUARE

来場者数:605名

参加企業 27社

HTC NIPPON
StarVR Corp.
株式会社ゾタック日本
レノボ・ジャパン株式会社
株式会社ジャパンディスプレイ
株式会社QDレーザ
株式会社IMAGICA Lab.
NTTテクノクロス株式会社
株式会社Synamon
株式会社積木製作
株式会社ナレッジコミュニケーション
株式会社神戸デジタルラボ
株式会社スペースリー
DataMesh株式会社

Gugenka®(株式会社シーエスレポーターズ)
株式会社テレビ朝日メディアブレックス
株式会社デジタル・ナレッジ
silvereye株式会社
株式会社アルファコード
グリー株式会社
株式会社ケイズデザインラボ
株式会社セック
日本ノーベル株式会社
株式会社エム・ソフ
Virtualitics
株式会社eje
フォージビジョン株式会社

●第4回「VR/AR/MR ビジネスEXPO OSAKA」

主催:株式会社Mogura、DBJキャピタル株式会社、
日本政策投資銀行関西支店
協力:阪急電鉄株式会社
日時:2019年4月10日(水) 10:00~17:00
場所:大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
イベントホールD+E

来場者数:388名

参加企業 26社

株式会社アルファコード
株式会社インフォマティクス
HTC NIPPON株式会社
株式会社エルザ ジャパン
大阪工業大学
株式会社CADネットワークサービス
株式会社QDレーザ
株式会社神戸デジタルラボ
Gugenka®(株式会社シーエスレポーターズ)
サン電子株式会社
株式会社Synamon
株式会社ジャパンディスプレイ
株式会社スペースリー
ダフトクラフト株式会社

株式会社積木製作
株式会社デジタル・ナレッジ
株式会社南国ソフト
株式会社 日本経済新聞社
日本ノーベル株式会社
パナソニック・パナソニック ビジネスサービス株式会社
株式会社ハニカムラボ
株式会社ビーライズ
Pico Technology Japan株式会社
株式会社floorvr
株式会社モノビット

過去4回の開催実績—会場の様子

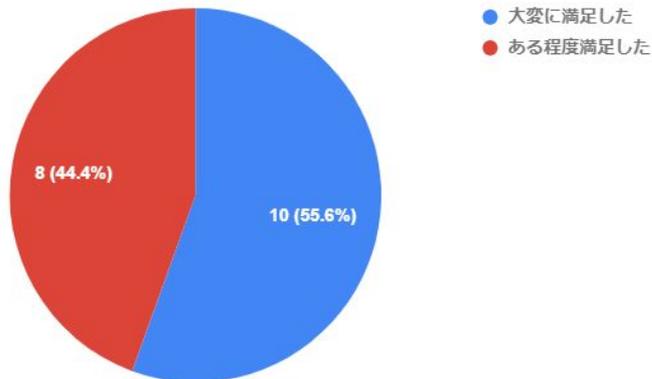


開催実績一高い満足度と商談実績①

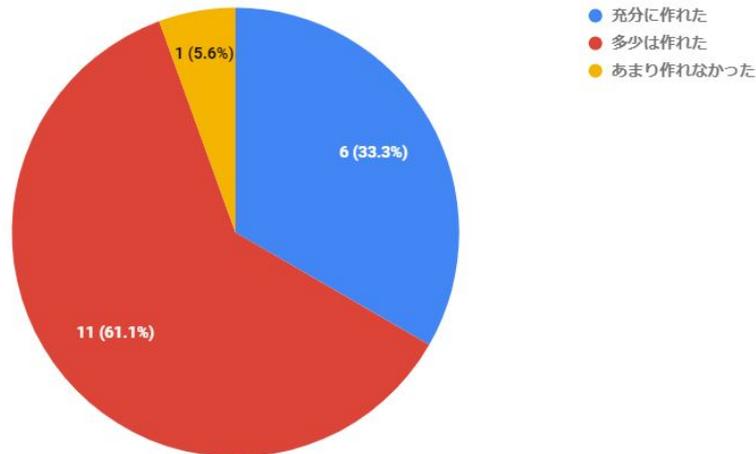
- ・第3回では、回答18社中全社が「満足」と回答
- ・何らかの商談機会を「作れた」と回答した企業は全体の94%(17社)

VR/AR/MR ビジネスEXPO 第3回 出展者アンケート結果抜粋

総合的な満足度



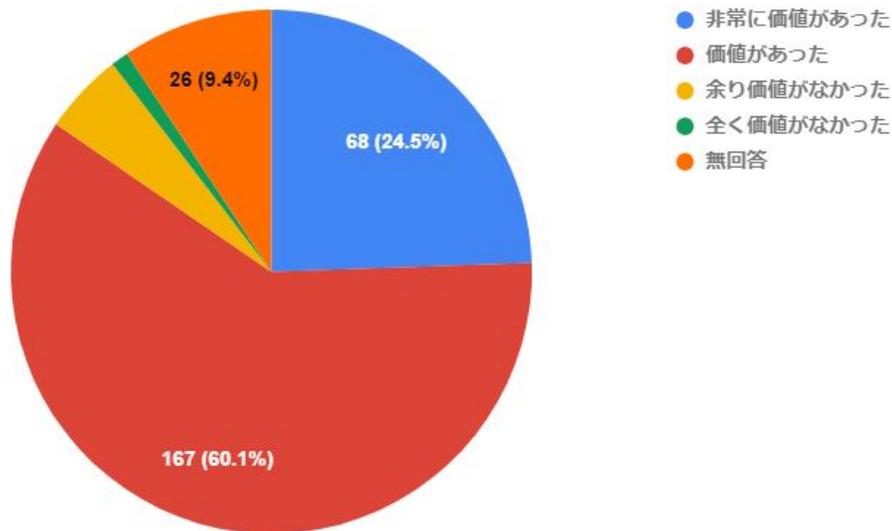
商談機会は作れたか



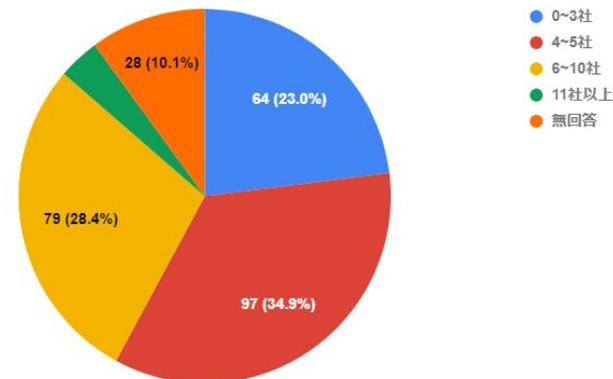
- ・普段リーチできないような企業 とつながりを持てた。
- ・ターゲットとしている業界の方の名刺を何枚か入手することができた。
- ・来場目的が明確なお客様が多くいらっしやった。

第3回 来場者アンケート結果抜粋 (回収率47%)

満足度



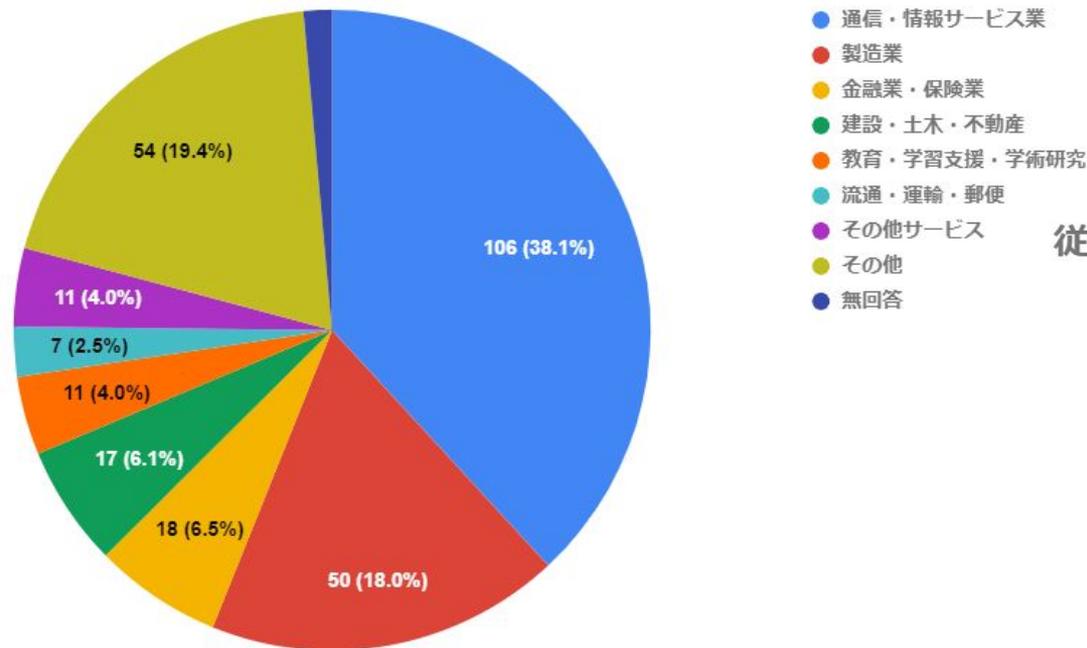
体験したブース数



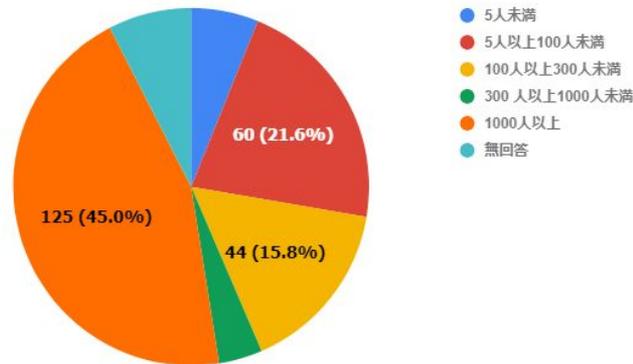
※満足している来場者が全体の約85%、1名あたりの **体験ブース数が4~10社と非常に多い** 点も特徴。

第3回 来場者所属業界内訳

所属企業の業種



従業員数



※ITやメディア業界に限らず、製造業、金融業、建設業などを含む幅広い業界の関係者が来場。従業員数 1,000人以上の比較的大規模な企業からの来場者がメイン。

※来場者の年齢の分布は、30～50代の比率が各回とも70%超。通常のVR展示会よりも年齢層は高め。

株式会社Moguraが目指すのは、VR/AR/MRの普及を加速させ、より豊かな体験を世の中に溢れさせる こと。一般消費者に加え、業界を様々な側面から支援するハブ(Hub)として各種事業を展開。

イベント

BtoB向けのマッチングイベント、セミナーなどこれまでに多数開催、開発者向けのハッカソン

コンサルティング リサーチ等

「VR等のコンテンツ制作技術活用ガイドライン 2018」(H29年度経産省補助事業)制作など官民の調査案件、企業コンサルティング等を手がける

VRを「あたりまえ」に

メディア (Mogura VR)

国内最大のVR専門メディアMogura VR等を運営。VR/AR/MR/VTuberに関する多様な情報を発信。19年直近は、月間200万PV over / 100万UU over

人材

VR/AR/MR業界事情と必要スキルなどの技術に精通した専門スタッフが、転職希望者を適切にサポート。企業様の求める条件とマッチング。

製品販売

VR体験の必需品「ニンジャマスク」、HTC Viveを使ったモーションキャプチャツール「Orion」などVRに関連した製品を販売。

(参考) イベント開催・協力実績

Moguraでは、多彩な種類のVRイベントを開催・登壇。企画サポートも行うほか、メディアの強みを活かした集客力が特長。開催後には記事でフォローアップを行い、イベントの盛り上がりをさらに拡散。



弊社イベント開催実績(一部)

- ・「Japan VR Hackathon」(2016年5月、日本全国7都市、総参加者数 **300人規模**):ハッカソンとしては国内最大規模
- ・「VR元年に何が起こったのか」(2016年12月、**200人規模**):ソニーインタラクティブエンタテインメント吉田修平氏、ハコスコ藤井直敬氏、バンダイナムコエンターテインメント田宮幸春氏などが登壇

弊社イベント協力実績(一部)

- ・「VRビジネスの今を知る“実践者”が語るビジネス×VR」(2017年3月、**100人規模**):企画協力、GMOクラウド株式会社様主催
- ・「Mirage Solo Developer Meetup」(2018年5月、**50人規模**):企画協力、運営支援、株式会社レノボ・ジャパン様主催